



ほんとの空ツーリズム 第3回幹事会

報告者



掲題の幹事会が1月30日二本松市民交流センターで開催されました。

当会から事務局 2名が参加しましたので報告します。

安達太良山の地域資源を広く発信して交流人口の拡大につなげる県と二本松市、猪苗代町、環境省、温泉、山岳、観光団体などで連携推進会議を組織し具体的な取り組みを進めています。事務局は公益財団法人福島県観光物産交流協会です。

議題は25年11月7日(金)～8日(土)に行われた安達太良山登山道保全&二本松観光モニターツアーの振り返りと次年度の取り組みでした。

モニターツアー1日目(7日)は安達太良登山道保全(烏川橋～旧道)が行われました。参加者は一般が9名、講師(飯豊朝日を愛する会)2名、福島県自然保護課1名、あだたら山の会1名(会長参加)、岳温泉観光協会1名、事務局4名でした。

登山道保全についての振り返り
(アンケート結果)

- ・作業内容(保全体験)いかがでしたか(回答9名)
 - とても面白かった 7名
 - 面白かった 1名
 - 大変だった 1名
- ・安全面はいかがでしたでしょうか
 - ちょうど良かった 6名
 - きつかった 2名
 - 物足りなかった 1名
- (近自然工法について実際の整備方法を見、作業し、一連の流れが分かりやすかった。)
- ・この作業に参加したいと思いませんか
 - はい 7名 いいえ 0名 条件による 2名

- モニターツアー2日目(8日) 二本松観光
 - ・和菓子作り体験・二本松菊人形・昼食
 - ・酒蔵見学

次年度の取り組みについて

- ・幹事会(年3回 6月、10月、1月)
- ・推進会議(年1回 3月)
- ・モニターツアー(5月、9月) 9月分は、令和7年度の内容を試験販売
- ・登山道保全 定期的実施する予定

幹事会の参加者は関係団体24名、事務局3名でした。

登山道保全活動については山の会も連携して取り組んでいく予定です。



& 二本松観光モニターツアー

開催日程: 2025.11.7(金)～11.8(土)
 集合場所: 福島駅西口新幹線改札付近
 又は、あだたら高原スキー場 駐車場 グレンデ入口付近
 集合時間: 福島駅(8:15)、あだたら高原スキー場(9:15)
 募集人数: 10名 ※最少催行3名
 ※応募人数が多数の場合、抽選とさせていただきます。
 参加費: 1日目の昼食以外、下記スケジュール内の移動費、食事代、宿泊代は主催者側で負担させていただきます。個人的な飲食等については各自ご負担ください。(傷害保険にも加入します)
 応募方法: 右上の二次元コードからご応募ください。

1日目	福島駅(8:15) = あだたら高原スキー場・奥岳登山口(9:15) ~ 登山道保全(軽食休憩含む) ~ あだたら高原スキー場 = 岳温泉
2日目	岳温泉 = 生菓子作り体験 = 二本松市内昼食 = 植物園酒蔵店見学 = 岳温泉(アンケート等) = 福島駅(16:00)



主催: ほんとの空ツーリズム事務局(公益財団法人福島県観光物産交流協会)
 お問い合わせ先 Email: kurogane@tif.ne.jp ※お問い合わせは、原則メールにてお願いします。
 www.tif.ne.jp/adventara/ Adventure Q. Tel: 024-625-4024 (営業時間: 月～金曜日9時～17時 休: 30～17:30)

登山道保全体験が組み込まれた際のツーリズムのチラシ
会報掲載、了承済み(広報部MT)



裏磐梯イエローフォール活動報告

報告者



2月8日(日) 磐梯山・イエローフォールに参加しましたので、以下に報告致します。

参加者：

の5名の参加でした。8時30分、裏磐梯スキー場の駐車場に到着。気温マイナス9度。晴天無風。

急斜面を少々登り、すでに疲労しながらレストハウスまで移動しリフト券を購入、登山届けを提出しました。

9時30分、リフト2本を乗り継ぎ裏磐梯スキー場の最上部に到着。スノーシュー2名、ワカン1名、ツボ足2名で出発しました。

9時50分、銅沼に到着。10分間水分補給。雪が少なく氷の上を所々歩きました。



10時25分、イエローフォール到着。まずまの形状でしたが、リフト係の方の話によると幅は年々小さくなっていると話されていました。雪は去年の半分以下との事です。イエローフォールに、いわきからの登山者がおりスノープローブを持っていました。計測によると積雪は1.2メートルでした。

軽食を食べ11時出発。気温はマイナス10度、風なし。帰路もリフト2本を使用し、11時50分、レストハウス到着。

私は、つぼ足で往復移動しましたが、問題なく移動出来ました。昼食をレストハウスで頂き終了となりました。

のんびり雪上を歩き気持ちが良い山行でした

登山教室 山に泊まる 2月例会にて

山に泊まる方法、大きく分けて3つ。そのメリットデメリットについての説明がありました。

- ①営業小屋（食事あり）
- ②避難小屋（食事あり、またはなし）
- ③テント泊

食事がある場合は、荷物も少なくすみ、不安も少ないが、自由度は低くなる。食事がある場合は荷物がかさむが自由度も高い。特にテント泊の場合はプライベート空間が保たれる。

会長からの金言

- ・2泊の場合、真ん中の日は美味しいもの、好きなものを食べよう
- ・寝る時のシャツと靴下は乾いたものを（精神的にも回復する）
- ・安達太良山でテントを張っているのは元くろがね小屋前
- ・ゴミ袋があると便利（濡れた靴を入れる、重しになるetc）



(広報部MT)



冬山パトロール 2月15日

8時あだたら奥岳レストハウス集合。

参加者、



8時半リフト搭乗。9時リフト降り口から登り始める。

積雪が例年よりもだいぶ少ないとの事。使われていないゲレンデは所々ブッシュが現れていた。ゲレンデを登り切ったあたりで衣服調節。水分補給。

10時薬師岳にて二手に分かれる。(先発班と後発班)

10時半過ぎ頃、仙女分岐にて篠竹2束回収。運搬を始める。風が強くなる。時折15mほどの風。

11時20分頃、無線にて先発班から後発班へ遭難救助事案の連絡が入る。

以降、遭難救助報告による。

(広報部MT)

遭難救助報告

令和8年2月15日、当会で冬山パトロール実施中に山頂直下大斜面上部1609mで要救助者に遭遇、以下概略報告です。

要救助者は県外から登山に来たベテラン登山者パーティー。奥岳から薬師経由で山頂を目指している途中で体調急変。スコップを使い斜面に平らなスペースを作り、ツェルト、アルミシートを使い保温。会員がすぐに救助要請。また、残りの会員に連絡して合流。消防が救助に向かうと連絡があり要救の状態などを説明。

防災ヘリが到着するとの事で応急手当をしながら待機。

県警ヘリ到着隊員2名が降下し我々も手伝いヘリにピックアップ救助される。結局は防災ヘリではなく県警ヘリが収容。13:30下山開始、15:30頃登山口に到着。

詳細は例会で報告します

救助の感想

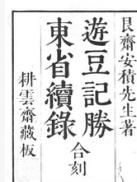
救助要請は情報の共有をすることの大切さを感じた。我々の感覚としては救助を消防に連絡すると完結すると思込みがあるので、次回の救助訓練時に確認する。

要救助者パーティーメンバーから後日、人伝ですが「安達太良山での救護活動に際し山の会の方々には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。」とお礼の連絡が届きました。

事務局だより (詳しくは事務局におたずねください。)

今朝(二十五日)の福島民報見て少し驚いた。二本松藩の「人物」安積良斎がNHKの大河ドラマに出るといふ。来年放送の「逆賊の幕臣」。

安積良斎は郡山市の安積国造神社の宮司の子、二本松藩校「敬学館」教授。其の後幕府昌平校教授。安達太良登山もしており「西獄」といふ山行報告も残している。登ったのは丙申年十月(天保七・1836年)の帰省時、四十六歳か。山岳愛好者として地元出身の大先輩かもしれない



事務局

が語った記事

「…黄昏家に帰る。母に山中の景勝説く。母は歎息していた…」今もそうかもしれない。



西大巔 山行報告

報告者



グランデコ山頂駅 登山開始集合写真

2月22日(日) 西大巔山行に参加しましたので、以下に報告致します。

参加者：

の5名でした。

今回の山行は、私が行きたかった樹氷ツアーです。あるYouTubeで見た西大巔山から西吾妻山へ向かう樹氷を見て感動し、待ち望んでいた山行でした。

8時に裏磐梯ビジターセンターに待ち合わせをして、賢さんと さんの車に乗り合わせグランデコへ出発しました。

8時20分にグランデコへ到着し、ゴンドラ観光券2500円(往復)を購入し、登山届を出して、ゴンドラ乗り場へ向かいました。3連休でもあり、スキー客も多く30分以上並んで、ゴンドラへ乗り込みました。9時半にゴンドラ山頂駅に着き準備をして登山開始。

山頂の気温は3度。スキー場の積雪は170cm。最高の青空と無風で、歩き始めから春のような陽気。スキー組 とアイゼン組 で登山道を別れ進みました。

11時30分に待ち合わせの場所(標高1843mの小さな丘)で合流し、しばし休憩をして山頂へ向

かいました。途中、暑さに上着を脱ぎ、水分や塩分、エネルギーもしっかり摂りながら歩きました。時々見る周囲の山並みに感動しながら山頂近くなると、待ちに待った樹氷が見えてきました。ここ数日の暖かさで樹氷は見れないかな~と思っていましたが、小さなかわいい樹氷たちが「いらっしゃい！」と笑顔で迎えてくれました。ついこちらも笑顔が出てしまいます。

12時20分山頂に到着しました。山頂では360度の大展望、飯豊山から月山、鳥海山、そして那須の山々から燧ヶ岳、日光の山々まで見渡せました。山頂は少し風もあり肌寒く、昼食を摂るには冷えそうでしたので、皆で記念写真を撮り下山開始。スキー組はやっとスキーのシールをはがし、滑り降ります。アイゼン組も遅れては・・と急いで下りました。

12時50分、標高1843mの小さな丘まで降り、各自昼食でエネルギーを補給しました。まだ、天気は晴天で暖かかったので、ゆっくり昼寝でもしたい気分でした。

13時15分下山再開、14時10分にはゴンドラ乗り場へ到着。14時30分にはセンターハウスでスキー組と合流し、駐車場へ向かいました。駐車場でもまだ空は青々としており、西大巔山も西吾妻山もきれいに見えました。

思いがけず暑すぎて、汗が噴き出るような山行でしたが、皆笑顔で幸せな時間を共有できました。私の願いだった樹氷ツアーありがとうございました。



小さなかわいい樹氷たち

山頂での集合写真



山頂へ向かって

